

# 生活文化常任委員会行政視察概要

令和5年8月10日（木）

於 委員会室

午前10時00分～午前11時30分

## 1 調査概要

「デジタル地域通貨『富士山Gコイン』について」

御殿場市産業スポーツ部商工振興課長  
商工振興課スタッフ

御殿場市では、地域内のお金をその地域内で循環させることが重要であることから、市独自のデジタル地域通貨「富士山Gコイン」を2022年7月より運用開始している。専用のアプリだけでなく、スマホに不慣れな人のためにカードタイプも配布している。現在の利用者は市の人口の4分の1の約2万人、加盟店は全体の6割に当たる約300店舗を突破するなど着実に増加している。これまで2度のプレミアム付デジタル商品券事業を実施したほか、これからは地域通貨の持つメリットを生かし、子育て支援、健康長寿社会や地域防災などの各分野の施策と連携し、また、ボランティア活動、環境美化活動、健康増進活動等のインセンティブや報奨として様々な市民活動・社会活動等に対して富士山Gコインのポイントを付与していくことにより、地域の課題解決や魅力向上へつなげ、SDGs及びデジタル田園都市国家構想、地域循環共生圏に合致したまちづくりの推進と地域経済活性化との好循環に取り組んでいる。



## 2 主な質疑応答

問 何歳からでも使えるのか。

答 0歳から使える。出産子育て応援では生まれた子に対してポイントを付与して

いる。

問 ポイント付与の方法は。

答 8ケタのコードを入力して自動付与している。

問 導入後、難しかった点は。

答 利用できる店舗集めが大変であった。わからないことがある店舗には電話や直接訪問により丁寧に説明を行った。高齢者に対しては市内に9カ所ある郵便局の協力を得て、高齢者に対して利用方法の説明を行った。

問 月締めの際の店舗側への振込手数料の負担は。

答 振込手数料は市で負担し、店舗側には負担がないようにしている。

問 本人確認の方法は。

答 アプリでは自身で氏名等を入力してもらう。カードでは、市役所及び5カ所の支所で受付をしており、対面での発行により本人確認を行う。

問 プレミアム分は市の持ち出しか。

答 現在は国からの交付金があるのでそれを当てている。ただし、今の市長の考えとしては国からの交付金がなくても市の単独事業として事業を継続していく考えだ。

問 色んな事業にポイントを付与していくと市財政に与える影響が大きくなり持続可能な事業とできるのか危惧する。

答 まずは数年かけて定着させることを目指して様々なポイントを付与している。

問 カードのチャージの仕方は。

答 お店にカードとお金を出すだけで、店側がチャージしてくれる。

問 ユーザー同士の送金はできるのか。

答 現在は対応できていない。ベンダーには市民からそういった要望があることを

伝えている。

以上